
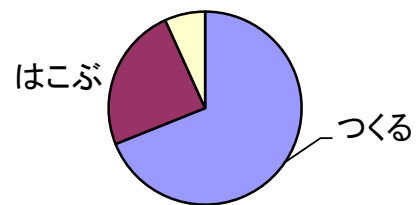


カーボンフットプリント 登録情報



1. 製品情報			
1.1	登録番号	CR-BX02-14001	1.7 製品写真 
1.2	製品名称 (日本語)	CO・OP緑茶 1000ml	
	製品名称 (英語)	CO・OP Green tea1000ml	
1.3	製品型式	—	
1.4	製品の主要仕様・諸元	名称：緑茶飲料 原材料名：緑茶（国産）酸化防止剤（ビタミンC）、 pH調整剤（炭酸水素Na） 内容量1000ml 容器：紙製パック	
1.5	CFP算定単位	1本（1000mL）	
1.6	公開日	2014年4月28日	

2. 事業者情報		
2.1	事業者名 (日本語)	日本生活協同組合連合会
	事業者名 (英語)	Japanease Consumers' Co-operative Union
2.2	電話番号	03-5778-8110

3. CFP算定結果およびCFP宣言の内容			
3.1	CFP算定結果 (カーボンフットプリント)	440	g-CO ₂ e (端数処理により左記の値は内訳の合計値と若干異なる場合があります)
3.2	内訳 (ライフサイクル段階別、プロセス別、フロー別、等)		
	原材料調達段階	220	g-CO ₂ e
	生産段階	100	g-CO ₂ e
	流通段階	92	g-CO ₂ e
	使用・維持管理段階	0	g-CO ₂ e
	廃棄・リサイクル段階	26	g-CO ₂ e
3.3	数値表示、追加情報の内容		
	数値表示	<記載内容> 440g	<数値表示の単位> 1本あたり
	追加情報の記載内容	<p>つくる：原料調達段階、生産段階の合計 はこぶ：流通段階（販売プロセスは含まれない） つかう、すてる：使用・維持管理段階、 廃棄リサイクル段階の合計</p> 	
3.4	備考		

4. CFP算定結果の解釈		
4.1	CFP算定結果の解釈	<p>○主なCO₂の排出源 主なCO₂の排出源は、特に、緑茶の生産、生産工場での燃料の使用による排出量が多く、容器の製造、商品の輸送も比較的多いことがわかりました。ただし、原材料の使用量及び生産段階でのエネルギーの使用量は、当社データを利用していますが、原材料製造時及びエネルギー等のデータは一般的な値を利用しているため、当製品固有の特徴を反映していない場合があります。そのため、この結果は概算値としてご理解ください</p> <p>○その他 流通段階の算定において、実際の輸送状況を反映していない部分もあります。そのため、この結果は概算値としてご理解ください</p>

5. 算定条件					
5.1	認定CFP-PCR名称	清涼飲料【第2版】	5.2	認定CFP-PCR番号	PA-BX-02
5.3	利用した二次データの考え方	基本データベースVer.1.01を優先して利用しつつ、利用可能データ（国内）Ver.1.04で補完した			

6. 検証情報					
6.1	検証方式	システム認証方式	6.2	システム認証番号	-
6.3	検証番号	CV-BX02-14001	6.4	検証合格日	2014年4月14日

7. プログラム情報					
7.1	プログラム名	カーボンフットプリント コミュニケーションプログラム	7.2	プログラムウェブサイト	http://www.cfp-japan.jp
7.3	プログラム運営者	一般社団法人産業環境管理協会	7.4	プログラム運営者住所	東京都千代田区鍛冶町2-2-1

8	備考	-
---	----	---

(※) 二次データについては、CFPウェブサイト下記ページ参照のこと。
<http://www.cfp-japan.jp/calculate/verify/data.html>